



片山真理
《25 days in tatsumachi studio /
アツミレコード#001》
2015©Mari Katayama Courtesy
of rin art association

もう一つのアーツ前橋開館5周年記念企画展 「つまずく石の縁 地域に生まれるアートの現場」

美術館がまちなかに飛び出します

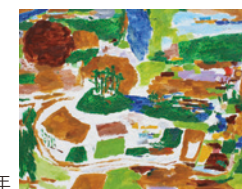
アーツ前橋のもう一つの5周年記念企画展を、前橋中心商店街協同組合と協力してまちなかを舞台に開催します。

アーツ前橋では開館以前から国内外の作家を招いて、まちなかでの滞在制作事業を継続してきました。本展は、過去に滞在制作を行ったアーティストの中から10組が、生活拠点となった商店街の店舗など8つの会場を使って作品を展示。会場に入場するためのパスポートになる本を販売します。

なお、本事業は宝くじの助成金（自治総合センターコミュニティ助成事業）により実施しています。
費用 600円（パスポート代）
日時 10月12日（金）～11月4日（日）
金土日曜、11時～18時



木村崇人制作風景撮影：木暮伸也



衣真一郎《横たわる風景》2017年

もともとはアートに対してハードルを感じていましたが、まちなかに滞在していたアーティストと一緒に食事をとるなど交遊したことで、彼らの表現を知って、面白いと感じるようになりました。世界中から集まったアーティストが前橋に滞在したことで生まれたものたち。アートを近くに感じられるきっかけになるかもしれません。



中心商店街の大橋純子さん

関連イベント

●アーティストトーク

ヘヴン・ベック、イルワン・アーメット&ティタ・サリナ、萩原留美子などの、参加アーティストによるトークイベントを行います。

日時 10月12日（金）16時～18時
対象 一般、先着40人

●ガイドツアー

まちをよく知るゲストと共にまち歩きをしながら、アーツ前橋学芸員が作品を解説します。参加にはパスポートが必要です。

日時 10月20日（土）28日（日）、13時～14時

講師 10月20日（土）前橋工科大講師・白井敬太郎（28日）建築家・橋本薫

対象 一般、先着100人

●梅沢英樹ライブ

アーティスト・音楽家としても活動する、梅沢英樹と上村洋一によるライブを行います。

日時 11月4日（日）13時～14時

会場 11月4日（日）オリオン通り

対象 一般、先着40人

申し込み 以上の3つはアーツ前橋

027・230・1144へ

萩原朔太郎賞が決定 中本道代さんの詩集『接吻』

前橋文学館 ☎027・235-8011

第26回萩原朔太郎賞は、最終候補作品6点の中から、中本道代さんの詩集『接吻』（思潮社）に決まりました。

その他の最終候補（刊行順）『数と夕方』管啓次郎さん（左右社）、『魔笛』広瀬大志さん（思潮社）、『くしかえしあらわれる火』西元直子さん（書肆山田）、『ナウシカアの花の色と、〇七年の風の束』中尾太一さん（書肆子午線）、『軸足をずらす』和田まさ子さん（思潮社）

●贈呈式・記念イベント

賞の贈呈や選考経過の説明、受賞者の中本さんによる記念講演などを行います。

日時 10月27日（土）13時30分

会場 前橋文学館

対象 一般、先着80人

申し込み 10月6日（土）から同館へ



萩原朔太郎は私に詩の怖さと深さを教えてくれた詩人で、詩の書き始めから今日まで何度も立ち返り読んで来ました。この度、萩原朔太郎賞を受賞できますことは、この上もない喜びです。 中本道代

中本道代さんのプロフィール

1949(昭和24)年11月15日広島県生まれ。京都大卒。詩人。詩集に『春の空き家』、『春分 vernal equinox』、『黄道と蛹』など。

マンダリンの音色響かせます 朔太郎音楽祭で癒やされて

前橋文学館 ☎027-235-8011

萩原朔太郎がこよなく愛したマンダリンにちなみ「マンダリンのまち前橋～朔太郎音楽祭2018」を開催します。



●マンダリンオーケストラ演奏会

青山忠さん指揮の下、2つのマンダリンオーケストラの演奏会を開催。本市出身のテノール歌手・角田和弘さんによる朔太郎の詩「旅上」の独唱、文学館長の萩原朔美や高校放送コンテスト入賞者によるポエムリーディングも行います。

日時 10月14日（日）14時30分

会場 昌賢学園まえばしホール

申し込み 当日会場へ直接

●前橋原風景写真展

写真家の井上道男が撮影した昭和30年代の前橋をパネルで展示します。

日時 10月11日（木）～14日（日）、10時～17時

会場 昌賢学園まえばしホール

